

"KYOTO BIKEN," FELINE-6

メッセージ



獣医師

治療よりも予防

"京都微研,"

フライン-6

動物用医薬品



株式会社  
微生物化学研究所

猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症  
猫汎白血球減少症・猫白血病ウイルス感染症の予防

要指示

# ウイルスによる伝染病に 特効薬はありません。

従って、怖い伝染病からかわいい猫を守るために  
は、ワクチン注射による予防が必要となります。

- 伝染性を示す猫の呼吸器病として、**猫ウイルス性鼻気管炎**と**猫カリシウイルス感染症**があります。
- また、激しい下痢や嘔吐を示し、子猫では死亡率の高い伝染病として**猫汎白血球減少症(猫伝染性腸炎)**があります。
- **猫白血病ウイルス感染症**は白血病、リンパ肉腫等の腫瘍を生じたり、また免疫不全となり他の病気を併発して高い死亡率を示す伝染病です。

“京都微研” **フィライン-6** は

**猫ウイルス性鼻気管炎** **猫カリシウイルス感染症(3株 FC-Z FC-64)**

**猫汎白血球減少症(猫伝染性腸炎)** **猫白血病ウイルス感染症**

これらの4種類の伝染病を一度に予防する効果的で  
安全性の高い混合ワクチンです。





## 猫の病気 Q&A



なぜ“京都微研”フィライン-6には3種類(3株)のカリシウイルス抗原が入っているのですか？



カリシウイルスは非常に変化しやすいウイルスなので1株より3株のワクチンで防御範囲を広げて、感染を防いでいます。



子猫にワクチンを接種するときは、いつ接種したらいいの？



子猫の時期のワクチネーションは8～10週齢からはじめ、3週間隔2回注射します。2年目からは年1回の注射で免疫が維持されます。



猫の白血病とはどんな病気ですか？



一般に白血病と呼ばれる血液の癌は、猫では猫白血病ウイルス(FeLV)によって生じます。FeLVに感染した猫の全てが白血病を発病するわけではありませんが、FeLV感染が骨髄細胞に及ぶとさまざまな病態を示し、さらに免疫不全のため他の感染症を併発することもあります。根本的な治療法はなく死亡する危険性の高い疾病です。



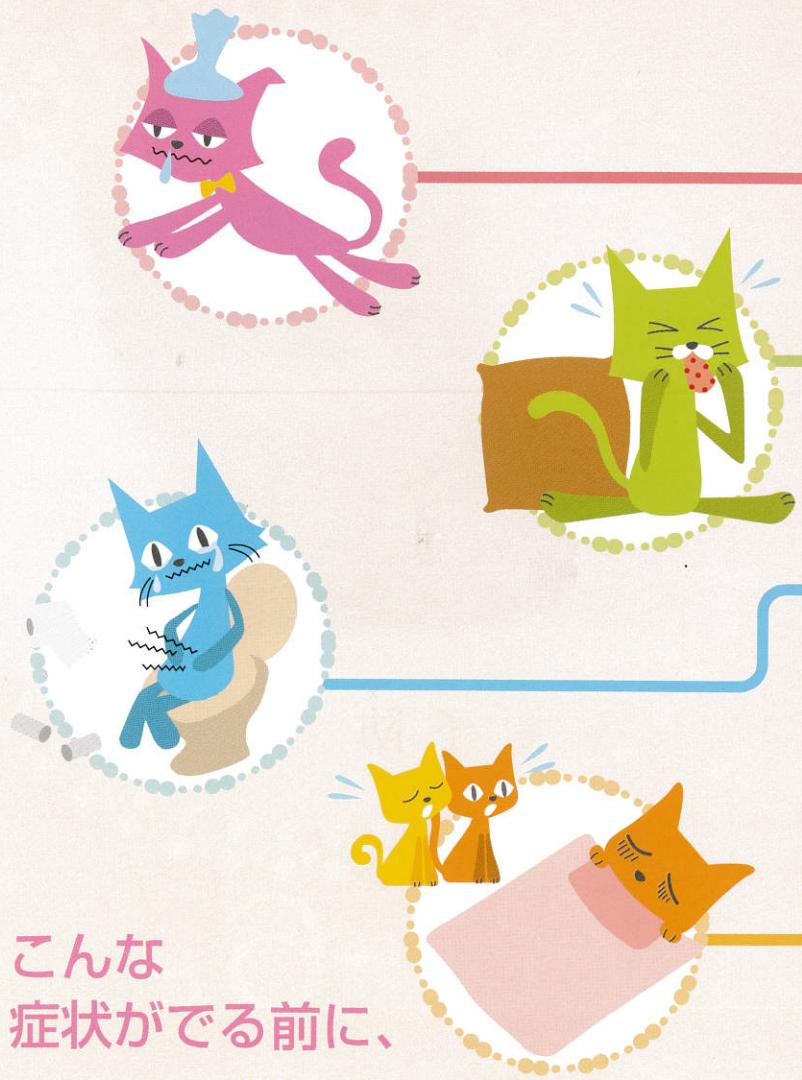
ワクチンを接種する前に検査が必要だと聞いたのですが？



猫白血病ウイルスに感染してもすぐ発病する訳ではありません。しかし、その猫はウイルスを排出し、感染源となるため検査により感染しているかどうか把握することが大切です。フィライン-6に入っている猫白血病のワクチンは猫白血病ウイルス(FeLV)の感染を防ぐためのものです。したがって、すでにウイルスに感染している場合には、ワクチンは無効となりますが、ワクチン注射で白血病を増悪することはありません。



## ご存じですか？猫の伝染病



こんな  
症状がでる前に、

### 猫ウィルス性鼻気管炎

猫ヘルペスウイルスによっておこる病気で、40℃前後の発熱と激しいクシャミ・セキを示し多量の鼻水や目ヤニがでます。強い伝染力があり、また他のウイルスや細菌との混合感染を引き起こして、重い症状となって死亡することもあります。特に子猫の時にはかかりやすく、高い死亡率を示す場合もあります。

### 猫カリシウイルス感染症

猫ウィルス性鼻気管炎と類似のカゼ様症状を示しますが、進行すると口の中や舌に水泡や潰瘍をつくります。一般的に鼻気管炎より強いウイルスなので、持続的にウイルスを排泄して、他のネコへの感染源となります。混合感染する場合が多く、この場合は重い症状となります。

### 猫汎白血球減少症(猫伝染性腸炎)

パルボウイルスによる病気で、高熱、嘔吐、下痢などの症状を示し、血液中の白血球の数が著しく少くなります。脱水症状が続くと猫は衰弱し、特に子猫では非常に死亡率の高い伝染病です。

### 猫白血病ウイルス感染症

猫白血病ウイルスに感染するとさまざまな病態を示します。リンパ肉腫、白血病などの腫瘍性疾患をはじめ貧血、汎白血球減少など骨髄機能の低下、腎炎あるいは免疫不全のため他の感染症を併発することもあります。これらはいずれも根本的な治療法はなく、死亡する危険性の大きい恐い病気です。感染猫の唾液中には多量のウイルスが含まれていて、猫同士の毛づくろいや咬傷などをつうじて口、鼻から伝染します。